

東構塾 川岸工業のSグレード工場見学 第9期最終回として

東京鉄構工業協同組合の
青年経営者委員会(会長 池田和隆・池田鉄工社長)が主催する若手経営者・技術者育成プロジェクト、東構塾(塾長 青野弘毅氏・元那須ストラクチャー工業)は3月22日、東京をはじめ近県ファブの塾生ら約30人を集め、第9期の最終回となる第12回講座として、

Sグレードの川岸工業千葉第一工場(千葉県柏市)の工場見学を行った。当日は東構協の寺島成美理事(川岸工業執行役員)と塾生である山本響介氏(同営業部)が案内役を務めた。一行は同社会議室で昨年2月に放映されたテレビ東京の番組「知られざるガリバー」で同社が紹介された回を視聴し、

工場スタッフの説明を受けながら、サブマージアーク溶接やエレクトロスラグ溶接による4面ボックス柱の加工のほか、鉄骨を縦に設置して溶接を行う溶接タワーなどを視察した。参加者はそのスケールや大型物件向け特有の製作設備に大きな関心を寄せていた。

見学終了後、東構協の吉岡晋吾理事長(吉岡工業社長)は「東構塾は次回から10期生がスタートする。継続の受講も可能なので、積極的に参加していろいろなことを学び吸収してほしい」と来る活動への参加と協力を呼び掛けた。



川岸工業千葉第一工場にて記念撮影

会社の沿革、工場内の配置などの補足説明を受けた。その中で新材料、新工法の研究体制の整備やSグレードに求められるさまざまな要件について紹介された。

その後、一行は2班に分かれ、竹永光貴工場長